

	徳島大学 保健系分野 (薬学)
学部・研究科名	薬学部 (創製薬科学科 (4年制) : 40名、薬学科 (6年制) : 40名) 薬科学教育部 (M : 35名、D3 : 10名、D4 : 4名)
沿革・設置目的	<p>薬学に関する教育研究を行うことを目的とし、徳島大学工学部薬学科を経て、昭和26年徳島大学薬学部薬学科が設置された。</p> <p>昭和24年 (1949年) 徳島大学設置 昭和24年 (1949年) 徳島大学工学部薬学科設置 昭和26年 (1951年) 薬学部薬学科設置 (昭和37年 (1962年) 製薬化学科増設) 昭和40年 (1965年) 大学院薬学研究科設置 (平成16年 (2004年) 大学院薬科学教育部に改組) 平成16年 (2004年) 国立大学法人に移行 平成18年 (2006年) 薬学科 (6年制) と創製薬科学科 (4年制) に改組 平成23年 (2011年) 大学院薬科学教育部(D4) 設置</p>
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 臨床現場において指導的役割を担える薬剤師、また臨床研究活動が行える薬剤師を育成するとともに、企業や大学等において、薬への深い理解を持った研究者、教育者として活躍できる人材を育成する。特に、医学部等との連携や学部・大学院一体となった教育を推進することにより、基礎薬学を基盤とする臨床薬学教育や臨床知識に裏付けされた創薬及び基礎薬学研究者育成のための教育を確立し、「インタラクティブYAKUGAKU JIN」の育成を目指す。 ○ 四国地区唯一の国立大学薬学部として、地域や学外医療機関と連携した既卒薬剤師に対する生涯教育プログラムを実施し、薬剤師の資質向上に貢献するとともに、大学連携による教育教材の開発や学生交流等を積極的に推進する。 ○ 有機化学分野を中心として学内における医療系学部の基礎研究成果を創薬へ結び付けるため医学部等との連携等を進め、研究の推進と人材育成を行う。